



平成27年度 園芸事業推進対策について

本県の園芸事業は、生産者の高齢化や、毎年のように発生する気象災害等の課題はあります が、新規生産者や後継者の参入・集落営農組織での園芸品目作付拡大・担い手による新規品目 の導入など、積極的な園芸品目への取り組みが増えてまいりました。

一方、消費面では野菜需要の6割は加工・業務需要と言われ、それに対応する取り組みも求 められております。

以上をふまえ、本会ではマーケットインを基本とした種々の対策を実施し、園芸農家の所得 向上及び生産基盤の維持・拡充をはかってまいります。

園 芸部





路のかたはらなる草花は或は赤く或は白雲はトマトの如く又馬鈴薯の如くである。

要食物。夏、浅い皿状で多数の裂片の黄 色花をつける。

「風は不断のオルガンを弾じ」とは、風はオ ルガンのように絶え間なく音を出し。佇立は、 たたずむ。

この物語は「すべてこれ摂理である。み恵 みである。善である」と言うマットン博士の 三段論法の矛盾が次々に指摘され、どんで ん返しで参会者が皆ビヂテリアン(菜食主 義者)に賛同する内容。

創り。如く。馬鈴薯。滑石。

トマトは、ナス科の一年生植物。果実は主

馳ける。蕪菁は野菜のカブ。

或は。鰯。鯨。鮭。

参考資料:岩手日報社発行『続 賢治のイーハトーブ植物園』より

タイトルのKlara (クラーラ) は、宮沢賢治の手帳にしるされて いる言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。 全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなの力で! contents



Contents	
賢治とイーハトーブの野菜たち02	みんなの分教場(
特集	イーハトーブの担い手便り ······(
平成 27年度園芸事業推進対策について …03	2015 いわて純情むすめ決定(
食から健康 ドクターズレストラン06	NEWS ワイドアングル

03 | KLARA vol.792 KLARA vol.792 02

【平成27年度基本方針】

|生産者収益の安定確保(値決めルート販売の拡充、加工・業務需要への対応強化||生産基盤の強化・拡充(「第2次園芸産地確立計画」の実践)

ルいわて」としての販売戦略構築による販売力の強化

果的な活用をはかるとともに、担い手支援対策と連携 による支援対策を継続実施し、目標達成に向けた効 度) 」の最終年度であることから、「園芸産地確立事業」 した生産拡大推進をおこないます を目的とした「第2次園芸産地確立計画(25~27年 本年度は、1 Aにおける園芸生産基盤の強化・拡充

とともに、販売促進の重点化や品質競争力の向上をす 加え、加工・業務業者との連携を強化し、販売力の強化 に向けて、重点市場・重点販売先への対応を強化する をはかります。また、「純情産地いわて」の指定席確保 した品目導入・産地育成のため、契約的取引の拡充に 実需者ニーズにもとづく産地づくり、販売を起点と ルいわて」としての販売力強化に取り組み

生産基盤拡大対策

- ①全県およびJA別重点品目設定による重点推進強 化および推奨品目設定による多様な販売・栽培ニー
- (3)「買取販売制度」等を活用した、取引先ニーズ・消費地 ②専作大型農家育成、新規生産者掘り起し、集落営農 提案への対応など、販売起点による産地づくり 組織への園芸品目導入推進による生産基盤の拡大
- (4)計画生産・責任供給可能な産地育成に向けた、

(5)生産者収益の拡大に向けた、秋冬品目 よる「純情産地いわて」の周年産地化の取り

販売強化対

- (1)生産者収益の安定化に向けた、産地直送・買取等値 決めルー ト販売の拡充
- (2)生産情報の的確な把握による、 情報販売·計画販売
- (3)実需者向け取引の拡充や加工・業務業者との連携強 化による、安定価格販売
- よる重点販売先への対応強化 安定販売の実現、ならびに販促フェア等の重点実施に
- (5品質競争力の強化に向けた、 JA別目揃え会実施

3.

(1)重点販売先への安定供給実現に向けた、 荷場間連携による共同販売対応の強化 A間·集

②広域的集出荷をバックアップする荷受・分荷システム

団地化・グループ化の推進

の作付推進に

(3)生産性の改善、反収向上による収益向上策の徹底

用拡大推進

(2)生産資材・流通資材の改善および低コスト資材の利

昇の抑制

(1)全国的な輸送状況の悪化に対応した輸送体系見直

しの取り組みによる、輸送の効率化と輸送コスト

4.

生産

•

流通コスト

減対

の導入促進

- ④重点市場・販売先への責任供給体制強化による長期・
- ⑥メディア媒体の活用と生産者参加型販促活動の

広域事業の展

	【行動計画】					
	実行具体策		行動計画			
			27年計画		26年実績	
	1. 第2次園芸産地確立計画の実践					
	野菜の生産拡大	野菜	78,000 ^ト >	野菜	67,128 ^۲ ر	
	花きの生産拡大	花き	84万箱	花き	79万箱	
	2. 値決めルート販売の拡充		51億円		48億円	
	(うち、野菜販売目標額)	(-	43億円)	(4	41億円)	
	3. 需要構造変化・環境変化に対応した資 材の拡大推進					
	通いコンテナの安定供給		50万枚	;	37万枚	
	生分解マルチの利用拡大	2	2,000本	1	,849本	
	トロ箱溶液栽培システム(うぃず One)		5件		3件	

【行動計画】				
中仁日仕笠	行動計画			
実行具体策	27年計画	26年実績		
1. 第2次園芸産地確立計画の実践				
野菜の生産拡大	野菜 78,000%	野菜 67,128%		
花きの生産拡大	花き 84万箱	花き 79万箱		
2. 値決めルート販売の拡充	51億円	48億円		
(うち、野菜販売目標額)	(43億円)	(41億円)		
3. 需要構造変化・環境変化に対応した資 材の拡大推進				
通いコンテナの安定供給	50万枚	37万枚		
生分解マルチの利用拡大	2,000本	1,849本		
トロ箱溶液栽培システム(うぃず One) の取扱拡大	5件	3件		

工・業務務用野菜への取り組み」を紹介いたします。 向けた具体策として、「買取販売への取り組み」と「加 続いて、重点取組のうち「生産者収益の安定確保」に

ゥ

一買取単価の設定

買取販売への取り組み

にもとづく産地づくり(マーケットインによる産地づく 拡充してまいります。 り)を目的として、全農岩手県本部による買取販売を 生産者の収益を安定させるとともに、実需者ニーズ

(1)買取販売の対象

実需者ニーズにもとづき、本会が提案した取

実、新規販売戦略(果実・花き)など のための秋冬期出荷品目、差別化に取組む果 加工·業務用野菜、新規作付品目、周年産地化

·新規就農者の経営安定に向けた取り組み

ウ・集落営農組織、担い手の新規園芸品目導入への取

(2)買取り方式

ア・買取りの種類

①生産者買取り:JAを通じて生産者から買取る 買取単価にて生産者毎に精算を実施) (生産者を限定した青果物が対象で、JAでは

備

販売先(用途)により要望品種が異なる

国内産の需要が拡大

安定的な需要がある

要請拡大

考

も共同計算に含めて精算を実施) (共選野菜·果実·花きが対象で、JAでは買取分 JAの共同計算から全農が買取る

.出荷計画書の作成および出荷

県本部と協議の上、出荷計画書を作成し、全農岩 買取販売を実施する生産者等・「 県本部に提出します。生産者・ Aは、全農岩手 JAは、その計

品目

たまねぎ

じゃがいも

にんにく

にんじん

ごぼう

加工トマト

レタス

寒玉きゃべつ

画に基づいた出荷をおこなっていただきます。

者等·J 定します。 実需者の要望や出荷数量・規格等を加味し、生産 A・全農岩手県本部で協議の上、単価を決

2. 加工・業務用野菜への取り 組みみ

なっていることなどから、加工・業務用野菜の推進を強 もない、野菜流通においても半数以上が加工・業務用と 近年の野菜消費動向は「個食・中食化」の拡大にと

(1)推進強化品目 直近の需要動向(本会への出荷要請)を勘案し、以

下の品目について推進強化品目と位置付けます。

青森産の減少により、市場販売規格品の出荷 冬期間の出荷要請が強い 生産量が減少傾向のため、出荷要請が強い



夏場の需要が拡大している 秋冬期の品目として貯蔵販売の実施

ア「加工・業務用野菜ネットワ 技術的支援 ク部会」設置による

(2)生産推進対策

ます にすすめ、加工・業務用野菜の生産拡大をはかり 術の確立・指導体制の強化を関係機関と一体 A営農指導員、本会をメンバー とし、栽培技 的

.生産拡大支援

①新規取組・生産拡大のための生産費を一部助成いた します。

②岩手県本部がレンタルを行う園芸品目 いて、レンタル料の一部を助成いたします。 用農機につ

もと、 に取 組んでま 度も園芸部一 ´ます で、 現

協力をお願

主義をモ 以上の方針の



近年の気象傾向(高温少雨等の出現)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平成21年		高温•少雨				少雨
平成22年			高温	高温	高温	
平成23年				高温	高温	高温
平成24年				高温•少雨	高温·少雨	高温·少雨
平成25年		少雨	少雨			
平成26年	高温·多照	高温	高温·多照	高温·多照		
平成27年		高温·少雨	高温·少雨	_	_	_

※平成27年の6月は中旬まで一部地域を除き高温・少雨傾向

畑地かんがい整備率

区分	岩手県	東北	全国
整備率	2.8%	8.0%	21.6%

(平成23年 農業基盤情報基礎調査)

表3 主な品目の畑地かんがい効果 (今年効果があったと思われるもの)

夏秋きゅうり	■活着の促進 ■草勢の維持 ■品質向上
露地ピーマン	■活着の促進 ■初期生育の確保 ■尻腐れ果の減少
レタス	■計画的な作付 ■チップバーンの防止・抑制
にんじん	■出芽揃い ■初期生育の確保
キャベツ	■活着の促進
ほうれんそう	■生育促進 ■ハウス回転数の増加

灰欠乏による生理障害の多発が懸念されます れ果」やキャベツ・はくさいの「ふち腐れ」など石 ここ数年の気象をみると(表1)、昨年は五 今後このような天候が続けばピーマンの「尻腐 ここ数年の気象 方、かん水が可能なほ場では計画的な作 れているほか、昨年 に比べて作物の

には気象台から「少雨に関する情報」が出され

した。また、降雨はあるものの

局所的なゲリ

今年は五月から高温・少

今年の気象

3

整備率

的にほ場が乾燥した状態が続きま

そのため、水が用意できないほ場では、活着の

きゅうりなどに被害が起きていますが、全県

降雹によ

か、土が乾いていてマルチが張れないなど様々な 遅れやその後の生育不良などが起きているほ

一十四年は六~ J月まで高温、一昨年は五~六月が少雨、平 このような気象の中で、

九月まで少雨となっています

になります。畑地かんがいの事業が入っていない

のよい肥沃な土壌と必要時のかん水が重要

野菜など畑作物の安定生産のためには水は

安定生産のために

較して大きく立ち遅れています(表2)。地面積の28%で東北の80%や全国の21%と比 らないかん水施設ですが、岩手県の整備率は畑 このように、安定生産のためにはなくてはな

材料(2人分) トマト大1個(中2個でも可)、玉ねぎ1/4個、【★調味料…レ モン汁大さじ、粒マスタード小さじ1、塩小さじ1/2、オリーブ油 大さじ1.5、粗挽きこしょう適宜】、なすとズッキーニ1cm弱の輪 切りで6枚、パプリカ乱切りで8個、おぼろ豆腐50g、生ハム4 枚、うどん(乾麺)140g、万能ねぎ適宜

★ を崩して混ぜ入を崩して混ぜ入る。

水で冷やす。

け、ネギを散らす。かけて生ハムを飾りつかけて生ハムを飾りつるを盛り、3ヶ

【付け合わせ】じゅんさいとオクラのジュレサラダ(茹でたオクラ、おか

ひじき、ベビーホタテ、水洗いしたじゅんさいをガラスの器に重ねていき、 白だしと柚子こしょうを好みの濃さで混ぜ合わせてゼラチンで固めてゼ リー状にし、上からかける)。エネルギー25kcal

旬の食材で元気に!

トマト: 赤い色素リコピンには高い抗酸化作用 があり、がん予防やアンチエイジングに働く。赤 く熟しているものほど栄養価が高く、吸収力をさ らに高めるためには油と一緒に調理して食べる のがよい。普通のトマトとミニトマトでは、ミニト マトのほうがビタミンCなどの栄養素を多く含 んでいるので、一人暮らしで野菜の摂取量が足 りない人は、ミニトマトを冷蔵庫に常時入れて おくのがオススメ。

なす: なすは、ほとんどが水分。 しかしカリウム が多く、これは多く摂りすぎた塩分を体の外に 排出する働きをするスグレもの。「秋茄子は嫁 に食わすな」と昔から言われてきたのは、カリウ ムが多いので体を冷やすから…と一説で言わ れている。熱い夏には体を冷やして熱中症予防 にもなる便利な食材である。

食から健康

自宅で作ってみましょう 料理監修/管理栄養士 臼井名津子

Doctor's restauran ~ドクターズレストラン~

がりたいものです

です

そうめんや冷や麦など、

夏場はつ

61

がちです

が、 つ い薬

つ

栄養

調味料と混ぜる。

協力/ドクターズレストラン「Green*Green」 盛岡市松園2-2-10 TEL.019-665-2345



きる涼しげな麺料理をご紹介しましょう。 今回は日本人にも馴染みが深く、 今回はご家庭にある「うどん」 イやマカロニといった「パスタ」 トを使った麺料理といえば、スパゲ 栄養バランスは抜群! ズに見立てた「おぼろ豆 を使って、 簡単にで ですが、

かも、

ツァレラチー

冷やした汁に漬けた夏

かけう

07 | KLARA vol.792 KLARA vol.792 06

になって農業生産に取り組み

般的に農業生産法人の課題は経理事務が手

ケティング分野まで手

農業生産法人を地域内でサポ

会社経営も2年目を迎え、今年度新たに2名

現在3名の社員と取締役が中心

よこみちファ

農業の取り

持鼠可都

な構

業団地があり周辺を田園が取り囲み、水稲や 根横道地区は、 町の特産であるアスパラガスなどの園 おり、農地と住宅地が入り組 り構想」の田園及び住居び



う仲間と同じ仕事を長くできるこ ために経営の黒字化.

に努め、集

地域の農地を守り野菜生産で収益を確保し 借受けました。農業生産の柱は水稲で雨除け 農地を農地中間管理 の農家と53%の タマネギ及びアスパラガスに取り組み

年4月に法人を選択し、 株主8名で平成26 株主8名で平成26

ピと狭隘で、かつ排水路も整備されていないと言 基盤の整備、地域内農業者や住民との調整役を 企画(任意)」を設立 る経理事務の強化をはかるとともに、会社をサ 迫地区は基盤整備に取り組んでおらず、 要であることなどが挙げられます。 同社では専属の事務局2名体制に りの支援、農産物の販売、農業生 水田が440筆を数え1区画平均72 1.%の水田の大区画 との協調が 加えて、構 同社が保

して、労働力の確保など生ートするために「小野寺農産

農業生産に従事できる
ある農業者が安心して
ある農業者が安心して の進

よこみちファーム㈱の概況

代表取締役 小原伸一(61歳) 平成26年4月7日 在 地:金ケ崎町西根桑木田4番地

合 員:8人

(水稲27ha、野菜等5ha) 簡易ビニールハウス3棟、精米機

団体との関係改善も必要ですし、1生産法人に関わる関連法令の見直しや農業関係生産法人に関わる関連法令の見直しや農業関係 の分離」の施策を評価 ヒジネス分野の拡大により地域の雇用拡大をは 農地中間管理事業に 営、農業生産法人に対するコー

食生活の変化に対応し 進めることに て紹介させていただきました。による集落型農業生産法人のに対するコーディネートが重 女性の社会進出に対応した しながらも、今後農業生産 ます。農業生産や集落営農 ることにより、新たな農業た農産物の生産や商品づ よる「農地の所有と利用

すことにより、地域全 効に活用し成果を出 して地域内の資源(人 集落営農の中核 モノ、お金)を有

同社は、農業生産 おいて実力を

ム株式会社【金ケ崎町】

利用の分離

を保ち、ガラス張りの経営をおこな か取締役として農業生産に従事し 職員の新陳代謝により柔軟性 という経営方針の実践により と意欲を持つ

アスパラガス栽培



と・体を動かすこと

①歌うこと・話すこと・食べるこ

③農畜産物を育てるところから私 たち消費者のもとに届くまでに、 熱い思いを持った多くの方々が関 わっていることを知りました。純情 むすめとして、その思いも届け、お 客様にはより岩手の農畜産物の美



「笑顔を絶やすことなく、 『いわて』の農畜産物 の販売・PRを精一杯努

めます」と決意を表明し

ました。

わて純情ですめ認定式

活動を通じて、幅広い世代へ

産地いわて」をPRします。

①趣味・特技 ②好きな言葉 ③純情むすめになっての意気込み

①スポーツ:読書

2015

一人ひとりに認定証 が授与されました。

①巡り・ソーイング・書道 ②みんなちがって、みんないい ③生まれ育った大好きな岩手の ために微力でも貢献したい、岩手 に笑顔を増やしたいという気持

ちでいっぱいです。

から届けます。

1映画鑑賞・卓球

②天真爛漫

たくさんの思いが込められた農

畜産物を全国・世界へ精一杯、心

一年間、よろしくお願いします。

③豊かな自然のなかで育まれ、たくさん

の人たちの思いが込められた岩手の農畜

産物を全国の皆さんに伝えていきたいで

絶やさずに精一杯頑張りますので、一年

②為せば成る

③岩手の自然あふれる大地と生 産者の方々が真心込めて育んだ 美味しい農畜産物を、1人でも多 くの方に好きになっていただける よう、純情むすめとして一生懸命 活動しますので、よろしくお願い します。



山口 菜那

かわはた かすみ

①お菓子作り、書道

②思いやり

いわて部情むすめか決定しました!

③岩手県の美味しい農畜産物と 皆様に知っていただけるよう、笑 顔をたやすことなく、一生懸命頑 張りたいと思います。そして私自 身も活動を通して勉強し、共に成 長していきたいです。1年間よろ しくお願いします。



営農の取り組み

NEWS WIDE ANGLE

機械化営農を支援

6月12日(金)・13日(土)

JA農業機械大展示会

JA全農いわて農機事業部は、6月12、13日にJAいわて花巻本所 特設会場で「JA農業機械大展示会」を開催しました。本展示会は農 家組合員の低コスト機械化営農支援を目的として毎年開催されてお り、今年度はJAグループの取扱メーカー52社が参加、様々な種類の 農機が多数展示・販売されました。農業機械のほか、肥料・農薬等農 業生産資材の展示コーナーや、水田フル活用に向けた担い手個別相

談等の様々な相談 窓口が設けられた 総合的な展示会 は、JAグループな らでは。来場者に はもれなく花の苗 が贈呈され、豪華 景品が当たる抽選 会がおこなわれる など、会場はお祭 りのような賑わい を見せました。



会場は多くの来場者で賑わいました



各メーカーごとの最新技術が紹介されました

飼料用米生産拡大に向けて

6月25日(木)

飼料用米全農買取調印式

JA全農は花巻市にて、農事組合法人遊新と飼料用米に関す る買取契約の調印式を実施しました。式には、農事組合法人遊 新の高橋代表理事、JAいわて花巻の阿部常務理事、JA全農米 穀部長瀬次長、JA全農いわて米穀部松田次長が出席し、遊新 と全農代理人として契約を結ぶ、JAいわて花巻との間で調印が おこなわれました。

農事組合法人遊新は平成17年に設立され、経営面積は約 8.700a、飼料用米の他、水稲、小麦、大豆等の作付をおこなって います。これまでも遊新は、生活協同組合コープネット事業連合 へ飼料用米を供給しており、その飼料用米で育てられた「お米育 ち豚」は生協の中でも人気の商品となっています。取引量は40ト ン以上が見込まれ、これまでの全農買取契約の中でも最大規模 の契約となります。

JA全農は、今後もこうした契約を積み上げることで、飼料用米 生産の拡大をはかり、主食用米の需給を改善し、価格の浮揚、安 定をはかるとともに、ひいては食糧自給率の向上につながるもの として取り組みをすすめてまいります。







6月末をもって、2014いわて純情むすめの 2015いわて純情むすめの活動がスタートし

さいました皆様有難うございました。

7月からは新たに5名が認定された5名の

ます。先輩たちの活躍に負けないよう、岩 「純情産地いわて」のPRのため1年間頑 手の農業と農畜産物を全国にPRしてまい

(岩本)

都道府県トップの10名入賞、岩手県が団体優勝

6月16日(火)

「第48回全農乾椎茸品評会」

JA全農いわては、石川県金沢市で開催された「第48回全農 乾椎茸品評会」にて東日本大震災以降、初の団体優勝に輝きま

この品評会は、全国の乾椎茸生産者の技術の研鑽と生産意欲 の高揚を目的としてJA全農が開催しています。

同品評会には、全国各地の生産者から1年の成果となる優秀 な乾椎茸およそ350点が出品され、形状、光沢、かさの大きさなど 品評会規格の6区分で厳正な審査がおこなわれました。審査の結

果、岩手県は都道府県トップの10人が入賞し、東日本大震災以 降、初の団体優勝となりました。

JA全農いわて関係者は「岩手県の原木乾椎茸は、福島原発事 故に伴う放射性物質の影響により、国からの出荷制限や風評被害 など、厳しい状況にあります。しかし、その逆境に打ち勝ち、産地の 再生「岩手ブランド」の再構築に向かって、生産者と関係者がオー ル岩手で一丸となって取り組んできた成果が、今回の品評会の結 果につながったと感じています」と話しました。



品評会会場の様子



林野庁長官賞受賞の中居さん(JA新いわて 普代)

産地と生産者への理解深める

6月12日(金)

「朝採りレタス」収穫体験

JA全農いわてグループは仙台中央青果と共同で、みやぎ生協 で販売している岩手町産レタスの収穫体験ツアーを、岩手町にて 開催しました。

このツアーは、収穫体験を通じて産地や生産者への理解を深め ることを目的に平成元年から開催されており、今年度はみやぎ生 協職員ら7人が参加しました。

レタス栽培に適した冷涼な高原地帯で育まれた岩手町産レタ スのなかでも、早朝に収穫された「朝採りレタス」はその日のうち にスーパーに並べられるため、新鮮なレタスを消費者にお届けす ることができます。

収穫作業は早朝5時半から始まり、すべて手作業。みやぎ生協職 員は「腰が痛くなる。脚も痛くなる。」と作業の大変さを実感しなが



瑞々しい新鮮な「風中川高原レタス」

らも、生産者、JA新いわて 職員と協力して収穫作業を おこない、交流を深めまし た。今回圃場を提供してくだ さった澤瀬勇さんら、生産 者の皆さんは「実際に現場 の作業を体験することで、岩 手のものを、思いやりをもっ て販売してもらえれば」と期 待を語りました。





生産者の皆さんと、みやぎ生協職員

11 | KLARA vol.792 KLARA vol.792 10





私たち全農グループは、 生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ■営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ■安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ■地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課 JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145

